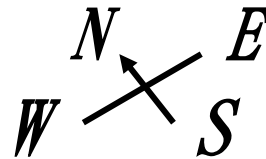


2017年8月1日

第279号

藤沢 エコネット

藤沢環境運動市民連絡会議
(略称) 藤沢エコネット



<http://econet2015.sakura.ne.jp>

事務局 e-mail: aoyagipc@jcom.home.ne.jp 青柳

FAX 0466-87-4922

主
な
記
事

- ・大人の遠足 小田原の報徳思想に学ぶ
- ・ジャコウアゲハを保護して下さい
- ・戦争と女性の人権 ・ぜん息患者等医療助成署名
- ・藤沢の空気を考えよう ・放射能測定値

原水爆禁止世界大会に参加します

8月の7日～9日に行われる「原水爆禁止世界大会 長崎」に藤沢から代表の1人として参加します。世界大会の参加は15年前「広島の世界大会」以来です。長崎の地に行くのは40数年ぶりになるかと思います。

7月7日に「核兵器禁止条約」が国連会議で採択されました。ヒバクシャの皆さまがどれほど待ち望んだことか、喜びでいっぱいと言いました。私もそう思います。悲惨な被ばくの実態を知っているのは広島、長崎に原爆を落とされた日本です。残念ながらアメリカやオランダ、日本はこの条約の採択に参加しませんでした。193カ国中122カ国が賛成しました。大きな一歩です。

新日本婦人の会(新婦人)では、1978年以来1550万筆を超える署名を国連へ届けてきました。会の目的に「核戦争から女性と子どもの生命を守り」「世界の女性と手をつなぎ、永遠の平和をうちたてること」を掲げています。草の根から行動する新婦人だからこそ、これだけの署名を集める事ができたのではないかと思います。この署名がきっかけで国連NGOにも登録されました。新婦人代表は6/16～20にはニューヨークに行き、国連交渉会議に出席、唯一の被爆国の積極的役割について発言する機会もありました。

私たちは毎月1回、原水爆禁止藤沢市協議会のみなさんと藤沢駅頭で「ヒバクシャ国際署名」を集めています。署名をしていると「北朝鮮」が核で威嚇している、だから核兵器は必要だと言う人がいます。核で核を脅かすことはバカげていること、許されません。この世の中から核兵器がなくなればこんなことはなくなると思います。

7月24日から26日まで「原爆展」をユーコープ湘南辻堂店で開催に参加。8月6日に辻堂駅、江の島弁天橋、9日は藤沢駅、湘南台駅で核廃絶の署名行動をして、少しでも多くの署名を集めていきたいと思います。

条約ができて初の原水爆禁止世界大会です。世界各国の代表が集まる大会ですので今から楽しみ、そして参加代表の1人として勉強していきたいと思います。

原水爆禁止世界大会を成功させ、条約参加を求める世論で、核兵器が全面禁止に向かってほしいと願っています。

眞島年枝



ハマボウ (今が花盛り 辻堂海浜公園で)

大人の遠足小田原の報徳思想に学ぶ、 〈再生可能エネルギー普及と地域活性の両立〉 参加レポート（主催：番來舎）

エネルギーから経済を考える経営者ネットワーク会議（略：エネ経会議）の事務局長さんが案内人。まずエネ経会議のソーラーパネル現場。一年のうち、5月が一番効率がよくて予想の190%位を記録。間違いと思ったそうです。暑すぎる夏は効率が落ちるとか。

次は、かつての小水力発電の遺跡。忘れられていたのをみんなで掘り起こしたそうで。また発電やってみたくて思ったけど、建設当時より水量が減って一割くらいになってしまったので断念。

昼食後、蒲鉾博物館にて鈴廣副社長でエネ経会議代表理事の鈴木さんのお話。



小推力発電の遺跡

（ここは、前回の報告とかぶるので割愛） 実証として本社ビルをゼロエネルギービル「ZEB」として建て直し。地下水で温度調節した空調の風は、床から吹き出す。身体を直撃しない冷房。

午後は鈴廣さんを出て、エネ経会議の電力販売をしている HURUKAWA さんのゼロエネルギーハウスの見学。

最後は、農地の上にソーラーパネルを貼ったソーラーシェアリング。運転を担って下さった梅農家さんの畑。パネルの下では里芋を育てています。農地転用の認可には三年ごとに農地としての成果を報告しないといけない。発電量はここも予想を上回っていて、広がるといいのだけど、設置費用や手続きや、成果が下回ったら畑に戻さないといけないなど面倒なためか、なかなか増えないそうです。千葉や静岡は90~100くらいの実例があるけど神奈川は6件だけとか。そのうちの1件は、我が藤沢のとなり、茅ヶ崎の『ちがさき自然エネルギーネットワーク』さんですね。

やっと先日、『ふじさわサンエナジー』の賛助会員になったので、藤沢の人たちと一緒にまた小田原に伺いたいと思った一日でした。

（杉山百合子）

〈藤沢エコネットニュース279号〉

ジャコウアゲハを保護して下さい

ジャコウアゲハをご存知でしょうか？ クロアゲハより一回り小さくて、雄はくろ、メスは薄茶色をしています。県によって違いますが、絶滅危惧Ⅱ類、準絶滅危惧種に指定されています。幼虫の食草は「ウマノスズクサ」というつる性の毒のある草で、その毒を体内に取り込むことで鳥に食べられないようにしているそうです。

私が道路をモコモコと横断しているこの幼虫に出会ったのは数年前の晩秋でした。翌春、蝶とウマノスズクサを確認しました。この場所の草は刈り取られてしまうと思い、こっそり何株かを我が家の庭に移植しました。案の定、この場所の草は刈り取られてしまい、その都度何とか刈らないでほしいとお願いしてきました。

3年前から文句を言うだけじゃダメだと気づき、夫と保全するための草刈りをしています。それでも草が伸びすぎると刈られてしまいます。今年、蝶は全く見られません。幸い我が家のウマノスズクサがかなり増えました。試行錯誤をしながら育てた蝶が5月初めに羽化し戻ってきて卵を産みました。あの時の嬉しさは忘れられないことでしょう。卵が孵化し幼虫が大きくなったら里帰りさせられます。また蝶が見られることと思います。私の足腰が大丈夫のうちは草刈りを続けるつもりですか、その後のことを考えると心配です。何とかジャコウアゲハとウマノスズクサを保護していきたいものです。

（永田ふみえ）



ジャコウアゲハのオスとメス

◆読者の皆様へ

自宅にてウマノスズクサを植えていただける方は藤沢エコネット事務局へご連絡ください。今は株分けの季節ではありませんが、登録していただき、後で時期が来ましたら差し上げます。

戦争と女性の人権

昭和 15 年、私は 1600g の未熟児で生まれた。産声もあげず、230 日だったので、死産かと思ったようだ。母は病気で乳がまったく出なかった。日本橋の伯母が産院だったので、一族あげて必死の努力でどうにか生き返った。父は浅野セメント勤務で、四国土佐工場に転勤が決まった。どうにか生きている姿に安心したのか、単身先行して赴任していった。

母と私はわずかの粉乳を持って 1 か月おくらて後を追った。

日中戦争から引き続き大東亜戦争が始まるころだと思う。工場から出征した社員が遺骨で帰り、盛大な工場葬が行われた直後、臨月の若妻はショックで男子を死産した。

それを姑に責められ、離縁された。「乳が張って苦しい！」と人伝えに聞いた父は「息子の乳母(メノト)になってほしい！」と、土下座して頼み込んだ。総務・人事担当だったので、社員の家族のことまで知り尽くしていたこともあり、話はまとまった。

当時、“産めよ、増やせよ！”の軍事主義の最中、ましてや、男子を死産させた若妻の居場所はなかった。食糧難の時代でもあり、様々な事情で実家にも居ずらくなった。そこで我が家の家族の一員として、土佐弁と慣れぬ社宅住まいで寝た切りになった母と私の世話を一手に引き受けてくれた。おかげで、私は生き延びることができた。

“夫の戦死・死産・離縁”、女性の三重苦の中で人権はまったくなかった。しかし私は“マーマーマ”と乳をせがみ、乳母にすぐ慣れた。

太平洋戦争に突入し、石炭・鉄・セメントは軍需産業の柱で北九州・筑豊に



乳母と私

またまた引っ越すはめになった。

戦争さえなかったら、母も乳が出たろうし、乳母も「自分の子を育て、家族で幸せに過ごせたらうに」と思うと、少々肩身が狭い。

最近の安倍政権は戦争ができる国へまっしぐら。共謀罪に到ってはダメ押しそのものだ。

私はこの夏、77 才の喜寿を迎えた。

戦争をゲームとして楽しみ、戦争賛美とも受け取れる社会、歴史、道徳の教科書を使う孫たちに“戦争の真実”一勝っても負けても不幸以外の何物でもないことを、書き伝えるため、“生かされた命”を使いたい。

一つづくー

(国枝健)

〈藤沢エコネットニュース279号〉

藤沢の空気を考えよう！

市民測定結果 2016.12

藤沢の空気を考える会でまとめた藤沢市内 13 地区別 2016 年 12 月測定結果は平均が

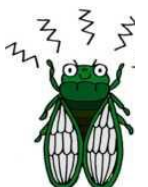
0.058ppm で、現在の環境基準(0.04~0.06ppm 以下)内ですが、市の目標値 0.04ppm を超えています。(下記表参照)。

また、旧環境基準(0.02ppm 以下)を超えていますので、きれいとはいえず喘息の増加が懸念されます。

毎年冬は高くなり、夏は低めです。冬は空気がよどむからだと言われています。

	件数	道路沿	件数	非道路沿	件数計	平均ppm
片瀬	5	0.102	8	0.053	13	0.072
鵠沼	7	0.082	9	0.023	16	0.048
辻堂	6	0.078	6	0.081	12	0.079
村岡	5	0.06	10	0.034	15	0.042
藤沢	17	0.072	10	0.039	27	0.06
明治	7	0.058	5	0.036	12	0.049
善行	8	0.051	4	0.041	12	0.048
湘南大庭	16	0.07	8	0.047	24	0.063
六会	13	0.065	8	0.033	21	0.053
湘南台	12	0.06	9	0.05	21	0.056
遠藤	8	0.052	0	—	8	0.052
長後	0	—	3	0.097	3	0.097
御所見	10	0.092	10	0.04	20	0.066
全体(平均)	114	0.069	90	0.044	204	0.058

藤沢市内 ワースト10	
下土棚	0.166
大庭隧道駅方面中央	0.150
鵠沼石上2	0.143
大庭隧道大庭側出口	0.140
辻堂元町2	0.135
藤沢小学校	0.134
用田	0.134
用田	0.132
宮原	0.130
葛原	0.125



大気汚染によるぜんそく患者の医療費助成を国に求める署名へのご協力のお願い

国は1998年に「公害は終わった」と公害健康被害補償法による全国41ヵ所公害指定地域を解除し、患者の新規認定を打ち切りました。しかし、大気汚染の原因は工場のばい煙中心から自動車排ガス中心に移ったものの、患者は増え続けています。現在、ぜん息患者医療費助成制度がある川崎市と東京都だけで約10万人が救済されています。全国ではこの数十倍の患者が高い医療費の負担に苦しんでいると思われます。

ぜん息等の呼吸器疾患どこに住んでいても誰もがかか得る病気であり、社会的救済が必要です。私たちは「汚染者負担の原則」にもとづく国の医療費救済制度の創設に取り組んでいます。

皆さま方におかれましてはそれぞれの活動でご多忙と思いますが、この運動の趣旨をご理解くださり、署名にご協力をお願い申し上げます。

署名の集約 2017年 8月末

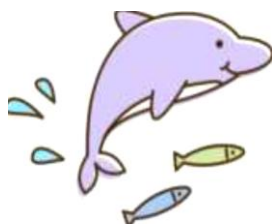
連絡先 川崎公害病患者と家族の会
〒210-0005 川崎市川崎区砂子 2-8-1

シャンボール互恵ビル304

電話 044-211-0391

FAX 044-233-4689

※別紙同封 署名用紙、封筒



放射能測定値

藤沢市放射能測定器運営協議会による

測定結果（藤沢市ホームページより抜粋）

2017年6月に計測され、依頼者が持ち込んだものです。梅 キノコ きゅうり フキ 牛乳 シラタキなどの食品は全て「検出せず」でした。わずかに3件が検出されていました。

わたらい茶 24.9 Bq/kg 基準以下

タケノコ 3.43 Bq/kg 基準以下

ドクダミ 17.3 Bq/kg 基準以下

▲「共謀罪法案施行と安倍改憲戦略」

学習会 講師 増本一彦 弁護士

DVD上映 「種まく人々」

8月5日(土)13:30-16:30

藤沢名店ビルイベントホール 参加費500円

共催 湘南学習会議 藤沢9条の会ほか

▲藤沢母親大会 =子どもの明るい未来のために=

8月26日(土) 藤沢市民会館1展ホール

10:00～分科会 しゃべり場

①子どもの貧困 ②教育現場で ③医療介護

13:30～全体会 記念講演 高橋由美弁護士

文化行事もあります 参加費500円

保育あり 申込を

主催 実行委員会 0466-26-1980

▲かながわ地球環境賞募集

地球温暖化や温暖化対策技術の開発など

募集期間 7/29～9/20応募問合せ神奈川県エネルギー課 045-210-4076

▲藤沢不戦のちかい

8月15日(火)16:00-18:00

藤沢駅北口サンパール広場

敗戦の日に2度と戦争はしないと誓った

スピーチ(市民・議員) パフォーマンス

湘南太鼓 コツカイ音読など



▲藤沢エコネットから

◆会員募集＝年会費・購読料→2000円

ゆうちょ銀行(9900)店番(029)

当座預金 0046501 フジサワエコネット

◆事務局会議 8月11日(金)10:00～

市民活動プラザむつあい

《編集後記》九州地方、秋田など東北に記録的な豪雨による家屋損害と犠牲者が続出、お悔やみ申し上げます。ここ藤沢では7月もほとんど雨が降らず梅雨が明けてしまった。報道によると「こんなに降ったのは生まれて初めて!」と年配者が言っていた。毎年、豪雨被害はどこかで起きている。アメリカのトランプ大統領は6月にパリ協定から離脱を発表した。地球は温暖化しその原因を作ってきたのはアメリカなど先進国だ、責任は重いはず。台風シーズンにはどうなるのか心配だ。(H)